

ニッポン企業外債ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし) (愛称：みやび)

運用報告書(全体版) 第9期

(決算日 2020年6月18日)

(作成対象期間 2019年12月19日～2020年6月18日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日系企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3279>
<3280>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信/海外/債券	
信託期間	約4年9カ月間(2016年3月24日～2020年12月18日)	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》の受益証券
	ニッポン企業外債マザーファンド(2020-12)	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利回り	公社債 組入比率	債券先物 比率	元残 本率
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落額	期中 騰落率				
	円	円	円	%	%	%	%	%
設定(2016年3月24日)	10,000	—	—	—	—	—	—	100.0
1期末(2016年6月20日)	10,070	30	100	1.0	4.1	89.0	—	100.0
2期末(2016年12月19日)	9,755	30	△ 285	△ 2.8	△ 2.5	95.8	—	79.7
3期末(2017年6月19日)	10,003	30	278	2.8	0.7	96.1	—	74.6
4期末(2017年12月18日)	9,919	20	△ 64	△ 0.6	0.2	95.6	—	38.7
5期末(2018年6月18日)	9,717	10	△ 192	△ 1.9	△ 0.7	98.5	—	26.6
6期末(2018年12月18日)	9,615	5	△ 97	△ 1.0	△ 0.9	95.3	—	24.2
7期末(2019年6月18日)	9,805	5	195	2.0	△ 0.2	94.2	—	21.8
8期末(2019年12月18日)	9,849	5	49	0.5	△ 0.0	92.9	—	19.0
9期末(2020年6月18日)	9,845	5	1	0.0	△ 0.0	83.8	—	16.9

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

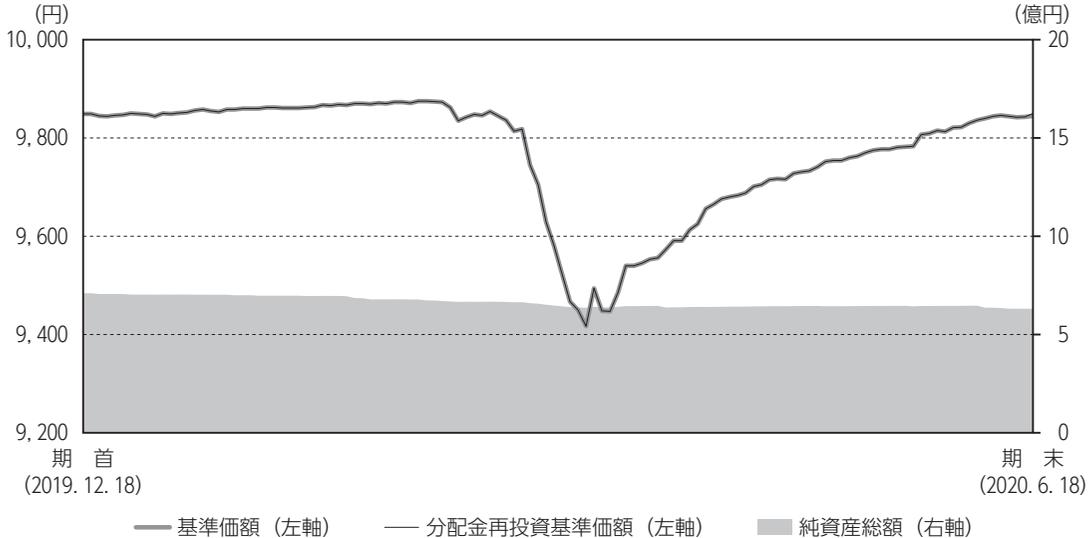
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,849円

期末：9,845円（分配金5円）

騰落率：0.0%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

「ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》」の受益証券を通じて、主として日系企業が発行する米ドル建ての社債に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行った結果、保有債券からの利息収入や社債金利の低下（債券価格の上昇）はプラス要因となったものの、ファンド運営にかかる諸費用を反映し、基準価額はおおむね横ばいになりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ニッポン企業外債ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率 組 入 比	債 券 先 物 率 比
		騰	落 率		
(期首)2019年12月18日	円	9,849	— %	92.9 %	— %
12月末		9,848	△ 0.0	94.0	—
2020年1月末		9,861	0.1	88.7	—
2月末		9,873	0.2	94.4	—
3月末		9,447	△ 4.1	87.8	—
4月末		9,717	△ 1.3	88.2	—
5月末		9,807	△ 0.4	86.0	—
(期末)2020年6月18日		9,850	0.0	83.8	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 12. 19 ~ 2020. 6. 18)

■米国債券市況

米国債券市場では、国債や社債の金利が低下しました。

2020年2月に入ると、新型コロナウイルスの感染が世界的に広まったことから投資家心理が悪化し、安全資産である米国国債が買い進まれ、金利は低下しました。また、当作成期にF R B（米国連邦準備制度理事会）は計2回、計1.50%ポイントの利下げを行い、国債などの資産を必要に応じて無制限に買い入れることを決定しました。

米ドル建ての社債については、新型コロナウイルスの感染拡大懸念が高まったことを背景に、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大しました。その後、主要各国の政策当局が金融機関や企業の資金繰りに関して大規模な支援策を打ち出したことからスプレッドは拡大幅を縮め、金利が低下した銘柄が多く見られました。

■前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

■ポートフォリオについて

(2019. 12. 19 ~ 2020. 6. 18)

■当ファンド

「ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸としたポートフォリオを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は5円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における経費控除後の配当等収益が7,783,360円であり、純資産額の元本超過額がないため、経費控除後の配当等収益7,783,360円（1万口当り121.38円）を分配対象額として、うち320,603円（1万口当り5円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

「ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 12. 19～2020. 6. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	55円	0.564%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,768円です。
(投 信 会 社)	(27)	(0.275)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0.275)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.013	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	56	0.577	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

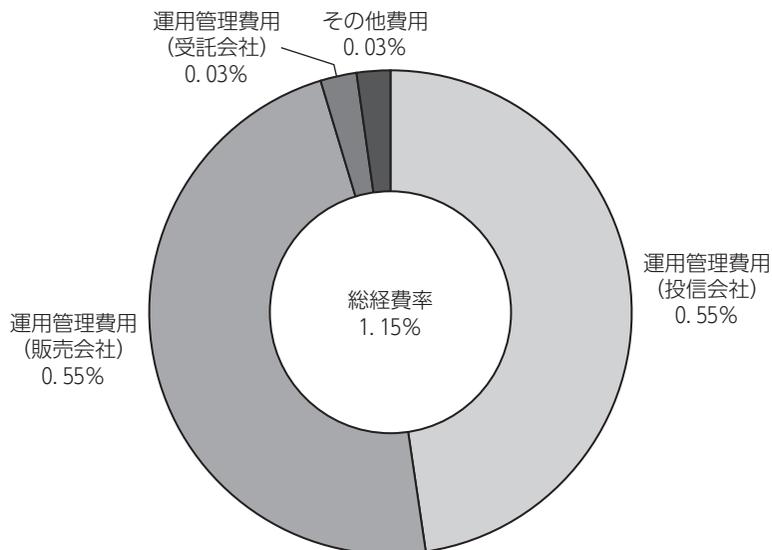
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.15%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2019年12月19日から2020年6月18日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ニッポン企業外債 マザーファンド 《2020-12》	5,533	6,000	84,737	93,100

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
ニッポン企業外債 マザーファンド《2020-12》	644,772	565,567	615,507	615,507

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ニッポン企業外債 マザーファンド《2020-12》	615,507	96.9
コール・ローン等、その他	19,670	3.1
投資信託財産総額	635,177	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝106.78円です。

（注3）ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》において、当期末における外貨建純資産（615,274千円）の投資信託財産総額（650,458千円）に対する比率は、94.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,214,929,099円
コール・ローン等	4,193,338
ニッポン企業外債マザーファンド 《2020-12》（評価額）	615,507,645
未収入金	595,228,116
(B) 負債	583,634,684
未払金	579,751,450
未払収益分配金	320,603
未払信託報酬	3,535,213
その他未払費用	27,418
(C) 純資産総額（A - B）	631,294,415
元本	641,206,885
次期繰越損益金	△ 9,912,470
(D) 受益権総口数	641,206,885口
1万口当り基準価額（C / D）	9,845円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,845円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は9,912,470円です。

■損益の状況

当期 自 2019年12月19日 至 2020年6月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 2,411円
受取利息	131
支払利息	△ 2,542
(B) 有価証券売買損益	17,423,407
売買益	32,039,710
売買損	△ 14,616,303
(C) 有価証券評価差損益	△ 13,909,013
(D) 信託報酬等	△ 3,788,374
(E) 当期損益金（A + B + C + D）	△ 276,391
(F) 前期繰越損益金	△ 10,895,179
(G) 解約差損益金	1,579,703
(H) 合計（E + F + G）	△ 9,591,867
(I) 収益分配金	△ 320,603
次期繰越損益金（H + I）	△ 9,912,470

（注1）有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

（注2）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注3）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注4）収益分配金の計算過程は5ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	5 円

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

為替ヘッジなし

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利益回り	公社債 組入比率	債券先物 比率	元本 残存率
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落額	期中 騰落率				
	円	円	円	%	%	%	%	%
設定(2016年3月24日)	10,000	—	—	—	—	—	—	100.0
1期末(2016年6月20日)	9,411	30	△ 559	△ 5.6	△ 22.9	95.2	—	100.0
2期末(2016年12月19日)	10,318	30	937	10.0	5.1	93.8	—	80.5
3期末(2017年6月19日)	10,071	30	△ 217	△ 2.1	1.3	95.8	—	43.1
4期末(2017年12月18日)	10,207	30	166	1.6	1.9	96.2	—	28.3
5期末(2018年6月18日)	9,897	30	△ 280	△ 2.7	0.2	98.2	—	23.4
6期末(2018年12月18日)	10,093	30	226	2.3	1.0	96.1	—	21.0
7期末(2019年6月18日)	10,049	30	△ 14	△ 0.1	0.8	94.6	—	17.3
8期末(2019年12月18日)	10,287	30	268	2.7	1.4	92.8	—	14.7
9期末(2020年6月18日)	10,105	30	△ 152	△ 1.5	0.9	85.5	—	11.5

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

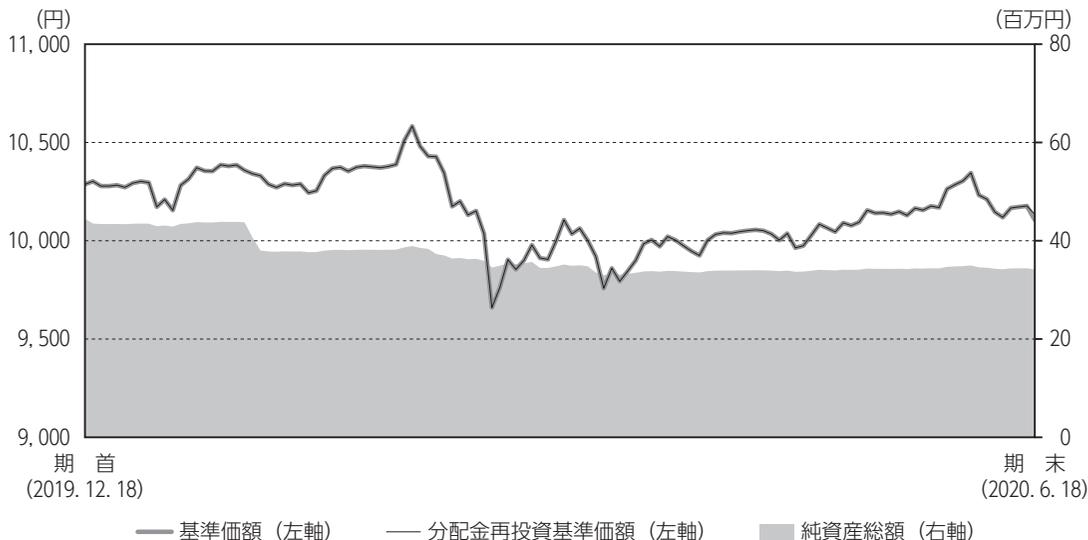
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：10,287円

期末：10,105円（分配金30円）

騰落率：△1.5%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》」の受益証券を通じて、主として日系企業が発行する米ドル建ての社債に投資した結果、保有債券からの利息収入や社債金利の低下（債券価格の上昇）はプラス要因となったものの、円高米ドル安を反映し、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
		騰 落 率			
(期首)2019年12月18日	円	10,287	—	92.8	—
12月末		10,296	0.1	93.6	—
2020年1月末		10,289	0.0	89.5	—
2月末		10,346	0.6	95.3	—
3月末		9,860	△ 4.2	89.3	—
4月末		10,003	△ 2.8	89.3	—
5月末		10,156	△ 1.3	86.2	—
(期末)2020年6月18日		10,135	△ 1.5	85.5	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 12. 19 ~ 2020. 6. 18)

米国債券市況

米国債券市場では、国債や社債の金利が低下しました。

2020年2月に入ると、新型コロナウイルスの感染が世界的に広まったことから投資家心理が悪化し、安全資産である米国国債が買い進まれ、金利は低下しました。また、当作成期にF R B（米連邦準備制度理事会）は計2回、計1.50%ポイントの利下げを行い、国債などの資産を必要に応じて無制限に買い入れることを決定しました。

米ドル建ての社債については、新型コロナウイルスの感染拡大懸念が高まったことを背景に、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大しました。その後、主要各国の政策当局が金融機関や企業の資金繰りに関して大規模な支援策を打ち出したことからスプレッドは拡大幅を縮め、金利が低下した銘柄が多く見られました。

為替相場

米ドルは対円で下落（円高）しました。

当作成期首より、米ドル円はおおむね横ばいで推移しました。2020年2月に入ると、新型コロナウイルスの感染が世界的に広まったことから投資家心理が悪化し、米ドル円の下落圧力が強まりました。それ以降は、投資家のリスク資産からの逃避が進み、米ドルの現金需要が高まったことから米ドル高が進行したため、米ドル円は下落幅を縮小しました。

前作成期末における「今後の運用方針」**当ファンド**

「ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》」の受益証券を高位に組み入れます。

ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

ポートフォリオについて

（2019. 12. 19 ~ 2020. 6. 18）

■当ファンド

「ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》」の受益証券を高位に組み入れました。

■ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸としたポートフォリオを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は30円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額455,367円が、経費控除後の配当等収益423,252円を超過しているため、純資産額の元本超過額455,367円（1万口当り134.70円）を分配対象額として、うち101,411円（1万口当り30円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

「ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》」の受益証券を高位に組み入れます。

■ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 12. 19～2020. 6. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	57円	0.564%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,157円です。
(投 信 会 社)	(28)	(0.275)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(28)	(0.275)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.012	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	58	0.576	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

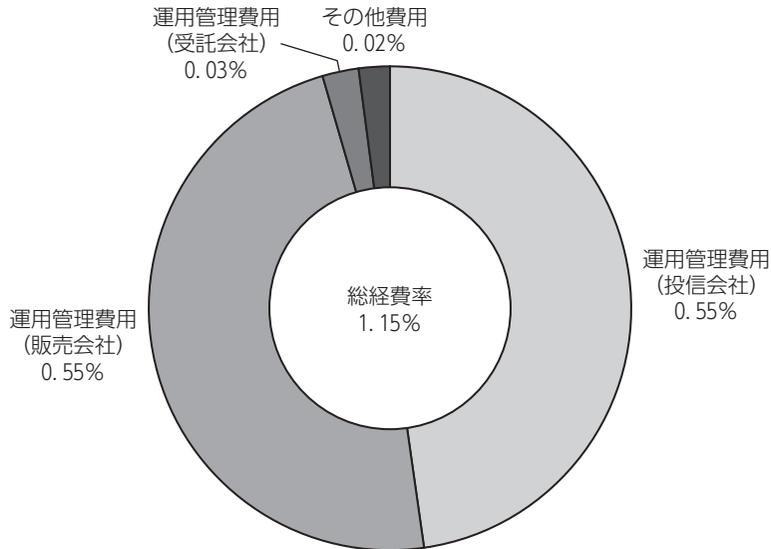
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.15%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ニッポン企業外債ファンド（為替ヘッジなし）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2019年12月19日から2020年6月18日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ニッポン企業外債 マザーファンド 《2020-12》	—	—	9,111	10,000

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ニッポン企業外債 マザーファンド《2020-12》	40,319	31,207	33,963

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ニッポン企業外債 マザーファンド《2020-12》	33,963	98.6
コール・ローン等、その他	491	1.4
投資信託財産総額	34,454	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝106.78円です。

（注3）ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》において、当期末における外貨建純資産（615,274千円）の投資信託財産総額（650,458千円）に対する比率は、94.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	34,454,468円
コール・ローン等	491,061
ニッポン企業外債マザーファンド 《2020-12》（評価額）	33,963,407
(B) 負債	296,778
未払収益分配金	101,411
未払信託報酬	193,963
その他未払費用	1,404
(C) 純資産総額（A－B）	34,157,690
元本	33,803,734
次期繰越損益金	353,956
(D) 受益権総口数	33,803,734口
1万口当り基準価額（C/D）	10,105円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,105円です。

■損益の状況

当期 自 2019年12月19日 至 2020年6月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 61円
受取利息	2
支払利息	△ 63
(B) 有価証券売買損益	888,456
売買益	888,456
(C) 有価証券評価差損益	△ 1,203,615
(D) 信託報酬等	△ 209,609
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	△ 524,829
(F) 前期繰越損益金	1,240,668
(G) 解約差損益金	△ 260,472
(H) 合計（E＋F＋G）	455,367
(I) 収益分配金	△ 101,411
次期繰越損益金（H＋I）	353,956

（注1）有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

（注2）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

（注3）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注4）収益分配金の計算過程は14ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	30円

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》

運用報告書 第9期（決算日 2020年6月18日）

（作成対象期間 2019年12月19日～2020年6月18日）

ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》の運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
株式組入制限	純資産総額の10%以下

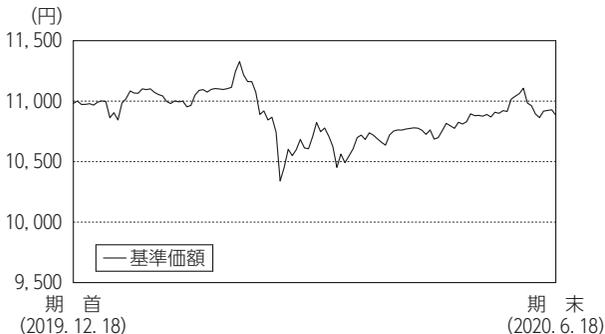
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		公社債 組入比率	債券先物 比率
	円	騰落率 %		
(期首)2019年12月18日	10,982	—	93.2	—
12月末	10,996	0.1	96.3	—
2020年1月末	11,000	0.2	90.8	—
2月末	11,073	0.8	95.6	—
3月末	10,562	△3.8	89.5	—
4月末	10,725	△2.3	89.4	—
5月末	10,899	△0.8	86.2	—
(期末)2020年6月18日	10,883	△0.9	86.0	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,982円 期末：10,883円 騰落率：△0.9%

【基準価額の主な変動要因】

主として日系企業が発行する米ドル建ての社債に投資した結果、保有債券からの利息収入や社債金利の低下（債券価格の上昇）はプラス要因となったものの、円高米ドル安を反映し、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○米国債券市況

米国債券市場では、国債や社債の金利が低下しました。

2020年2月に入ると、新型コロナウイルスの感染が世界的に広まったことから投資家心理が悪化し、安全資産である米国国債が買い進まれ、金利は低下しました。また、当作成期にFRB（米連邦準備制度理事会）は計2回、計1.50%ポイントの利下げを行い、国債などの資産を必要に応じて無制限に買い入れることを決定しま

した。

米ドル建ての社債については、新型コロナウイルスの感染拡大懸念が高まったことを背景に、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大しました。その後、主要各国の政策当局が金融機関や企業の資金繰りに関して大規模な支援策を打ち出したことからスプレッドは拡大幅を縮め、金利が低下した銘柄が多く見られました。

○為替相場

米ドルは対円で下落（円高）しました。

当作成期首より、米ドル円はおおむね横ばいで推移しました。2020年2月に入ると、新型コロナウイルスの感染が世界的に広がったことから投資家心理が悪化し、米ドル円の下落圧力が強まりました。それ以降は、投資家のリスク資産からの逃避が進み、米ドルの現金需要が高まったことから米ドル高が進行したため、米ドル円は下落幅を縮小しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

◆ポートフォリオについて

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸としたポートフォリオを維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	1
（保管費用）	（ 1）
（その他）	（ 0）
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》

■売買および取引の状況

公 社 債

(2019年12月19日から2020年6月18日まで)

外国	アメリカ	社 債 券	買 付 額	売 付 額
			千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
			834	1,586
			()	(400)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2019年12月19日から2020年6月18日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄		銘 柄	
	千円		千円
Asahi Mutual Life Insurance Co (日本) 7.25% 永久債	47,251	Nippon Life Insurance Co (日本) 5% 2042/10/18	34,913
ORIX Corp (日本) 2.65% 2021/4/13	44,110	Meiji Yasuda Life Insurance Co (日本) 5.2% 2045/10/20	24,353
		Sumitomo Life Insurance Co (日本) 6.5% 2073/9/20	23,982
		Sompo Japan Insurance Inc (日本) 5.325% 2073/3/28	23,011
		Mizuho Financial Group Inc (日本) 1.11663% 2023/3/5	22,083
		Central Nippon Expressway Co Ltd (日本) 1.14713% 2022/3/3	21,957
		Sumitomo Mitsui Financial Group Inc (日本) 2.42138% 2021/7/14	11,077
		Mitsubishi UFJ Financial Group Inc (日本) 1.78138% 2022/7/25	11,047

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国(外貨建)公社債(通貨別)

作 成 期	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
区 分								
	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	5,100	5,228	558,336	86.0	—	29.9	14.8	41.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	期 末		償還年月日	
				額 面 金 額	評 価 額		
					外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額
			%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	Chiba Bank Ltd/The	社 債 券	2.7500	400	400	42,797	2020/07/29
	Mizuho Financial Group Inc	社 債 券	1.1166	400	397	42,436	2023/03/05
	Mitsubishi UFJ Financial Group Inc	社 債 券	1.7813	500	501	53,572	2022/07/25
	Sumitomo Mitsui Financial Group Inc	社 債 券	2.4213	500	503	53,779	2021/07/14
	Asahi Mutual Life Insurance Co	社 債 券	7.2500	400	421	45,021	永久債
	Mitsui Sumitomo Insurance Co Ltd	社 債 券	7.0000	400	431	46,117	2072/03/15
	Dai-ichi Life Insurance Co Ltd/The	社 債 券	7.2500	500	530	56,683	永久債
	Nippon Life Insurance Co	社 債 券	5.0000	200	213	22,842	2042/10/18
	Fukoku Mutual Life Insurance Co	社 債 券	5.0000	200	217	23,224	永久債
	ORIX Corp	社 債 券	2.6500	400	404	43,230	2021/04/13
	Central Nippon Expressway Co Ltd	社 債 券	1.1471	400	400	42,724	2022/03/03
	Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ Ltd/The	社 債 券	2.7500	400	402	42,946	2020/09/14
	Mitsubishi UFJ Lease&Finance Co Ltd	社 債 券	2.7500	400	402	42,957	2020/10/21
合 計	銘柄数	13銘柄					
	金 額			5,100	5,228	558,336	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	558,336	85.8
コール・ローン等、その他	92,121	14.2
投資信託財産総額	650,458	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=106.78円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(615,274千円)の投資信託財産総額(650,458千円)に対する比率は、94.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月18日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	650,458,647円
コール・ローン等	86,421,858
公社債(評価額)	558,336,923
未収利息	5,467,619
前払費用	232,247
(B)負債	1,000,386
未払解約金	1,000,000
その他未払費用	386
(C)純資産総額(A-B)	649,458,261
元本	596,775,754
次期繰越損益金	52,682,507
(D)受益権総口数	596,775,754口
1万口当り基準価額(C/D)	10,883円

* 期首における元本額は685,091,842円、当作成期間中における追加設定元本額は5,533,014円、同解約元本額は93,849,102円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ニッポン企業外債ファンド(為替ヘッジあり)565,567,992円、ニッポン企業外債ファンド(為替ヘッジなし)31,207,762円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,883円です。

ニッポン企業外債マザーファンド《2020-12》

■損益の状況

当期 自 2019年12月19日 至 2020年6月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	12,483,788円
受取利息	12,493,743
支払利息	△ 9,955
(B) 有価証券売買損益	△ 18,209,349
売買益	1,203,571
売買損	△ 19,412,920
(C) その他費用	△ 59,052
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 5,784,613
(E) 前期繰越損益金	67,251,032
(F) 解約差損益金	△ 9,250,898
(G) 追加信託差損益金	466,986
(H) 合計 (D + E + F + G)	52,682,507
次期繰越損益金 (H)	52,682,507

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。